

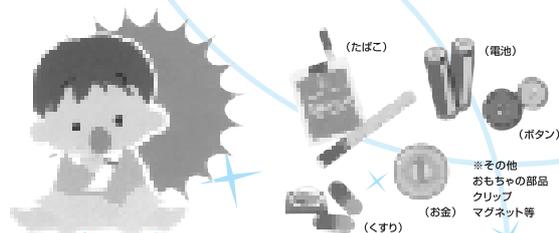


子どもを安全に育てるために

～不慮の事故にご注意！～

統計によると、過去50年間、1～9歳の子どもの死亡原因のトップは「不慮の事故」です。赤ちゃんが発達していく上で「不慮の事故は必ず起こる」と思い込まなければなりません。それぞれの発達段階で起きやすい不慮の事故について確認し、ご家庭の中をもう一度見渡してください。

運動機能の発達		誤飲・窒息	溺水(おぼれる)	切り傷・打撲	やけど	転落	交通事故
誕生		枕・やわらかいふとんによる窒息	入浴時の事故		熱いミルク 熱い風呂	親が誤って子どもを落とす	自動車乗車中の事故 ※チャイルドシートをしていないとより危険度が増します。
3ヶ月	からだや足をバタバタさせる				こたつ、ホットカーペット(低温やけど) ※子どもの皮膚は薄いので、やや低い温度でも重症なやけどを負う場合があります。	ベッド、ソファーからの転落	
4ヶ月	見たものに手を出す・口の中に物を入れる				ポット、飲物、アイロン		
5ヶ月				床にある鋭いもの			
6ヶ月	寝返りをうつ	たばこ、小物、小さなおもちゃの誤飲		角のあるおもちゃ			
7ヶ月	すわる					歩行器による転落	
8ヶ月	はう				炊飯器、ストーブ、ヒーター	階段からの転落	
9ヶ月	物をつかむ	よだれかけ、ひも、コードを首に巻きつけてしまうことによる窒息	浴槽への転落 ※10cmの水深でもおぼれる場合があります。	家具、建具の角がみそりのいたずら		ベビーカーやいすからの転落	
10ヶ月	家具につかまり立ちをする					浴槽への転落	
11ヶ月		ナッツ類の誤飲					通りでのよちよち歩き
12ヶ月	一人歩きする						母親との自転車2人乗り
13ヶ月	スイッチ、ノブ、ダイヤルをいじる	薬、化粧品の誤飲		テーブルの角、ガラス、ドアに手をはさむ、引き出しの角		階段ののぼりありでの転落	
1歳半	走る 登る		プール、川、海での事故			窓、バルコニーからの転落	
2歳	階段を上り下りする	ビニール袋をかぶってしまうことによる窒息		屋外の石	マッチ、ライター、花火		三輪車の事故
3歳	高い所へ登る					すべり台、びらんごからの転落 ※バランスをとる能力は4～5歳児になってもまだまだ未熟です。	自転車の事故
5							



●不慮の事故を防ぐには、「目を離さないで」ではなく「目を離しても大丈夫」といえる環境を整えてあげることが大切です。

問合せ 健康福祉課 ☎029-240-6550

次回の「まごころ通信」は9月号に掲載予定です。